南部中ホームページ （http://www.nanbu-chu.ed.jp/）はこちらから →

南部町立南部中学校　学校だより　R8第１３号

城山の風

令和8年11月2日（月）

校長　樋口信也

峡南地区英語暗唱大会



１０月１４日（水）、中富総合会館で峡南地区英語暗唱大会が開催されました。峡南地区の各中学校から代表者が集まり、英語のスピーチ力を競い合いました。

本校からは、１年生は遠藤蘭さんと藤森紅羽さんのペアが、２年生は山口蓮さんが、３年生は望月楓さんが出場しました。英語科の先生やＡＬＴのアイリーン先生の指導のもとで練習に励み、前日には蒙軒ホールで全校を前に本番を想定しての練習をしました。８校の代表者から最優秀（１位）だけが決まり、県大会に出場することになりますが、望月楓さんが見事最優秀になりました。県大会は１１月１７日です。

思春期体験学習



１０月２０日（火）に３年生を対象に思春期体験学習を行いました。峡南教育事務所・南部町福祉保健課と連携し、南部町愛育会の協力を得て毎年行っています。

前半は、思春期保健相談士で看護師の福田紀恵さんに「中学生に伝えるいのち」と題して、赤ちゃんが生まれてくるしくみ（生まれ方）などについてお話をしていただきました。福田さんのお話の中で特に印象に残った言葉を紹介します。

「（みんな）愛されたから今がある」
「性とは、自分らしい生き方のこと」
「ネットの情報に振り回されず、正しい知識を身につけて」
「自分のいのち・自分らしさ、相手のいのち・相手らしさ、自分たちから始まる未来のいのち。心と身体と相手と未来を大切に」



お話の最後に、出産を迎える家族の様子を映した映像を見ました。昨年も見ましたが、自然と涙が出てきました。

後半は、妊婦体験や人形を使った赤ちゃんのお世話体験（抱っこやおむつ替え）、赤ちゃんのいるご家庭に協力していただいての赤ちゃん抱っこ体験をしました。

生徒たちは、親のどういう思いの中で生まれ育てられてきたか考えたのではないでしょうか。この思春期体験学習は、中学３年の今やることに意義があると思います。とても大切で必要な体験学習でした。

【生徒の感想】（小倉世菜さん）

今回の思春期体験学習を通して、赤ちゃんの生まれてくる過程や性について詳しく学ぶことができました。今まで知っているつもりだったことでも、改めて学ぶことで新しく知ることや気づくことがたくさんありました。特に、私たち一人ひとりが生まれるまでにはたくさんの過程があり、命が誕生することのすごさを知りました。また、赤ちゃんが自分の力で生まれるための準備をしていることを知り、赤ちゃんの体には命を守るためのさまざまな仕組みがあるのだと感じました。さらに、性について正しい知識を身につけることは、自分の体や心を守るためだけでなく、相手のことを理解し、大切にするためにも必要なのだと思いました。中学３年生の今、自分は何者なのか改めて深く考えるきっかけになりました。私はこれから、自分のことを大切にするのと同じように、周りの人のことも大切にしていきたいです。そして、普段はなかなか気づくことのできない、支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れず過ごしていきたいです。

音楽発表会に向けて



今、校内のいたるところから歌声が聞こえてきます。それは、１１月１４日（土）に音楽発表会があるからです。合唱は本校が大切にしているものの一つで、みんな真剣に取り組んでいます。そんな中、１０月２８日（水）に、今年も青渕高校音楽部のみなさんが合唱指導に来てくださいました。顧問の薬袋先生に教えていただきながら、高校生が中学生と一緒になって練習してくれました。高校生からは、歌声だけでなく、歌に向かう姿勢など学ぶものがたくさんありました。例年、この日を境に生徒の歌や様子が変わります。合唱の取り組みを通して、歌を楽しむことはもちろん、みんなで一つのものを創り上げるやりがいや楽しさを感じてほしいと思います。

蒙軒塾



１０月２９日（木）から３年生対象の放課後学習会「蒙軒塾」が始まりました。南部町教育支援センターと連携して行っているもので、町内在住の教員ＯＢの方々が来校し、１１月１１日までの計６回学習指導をしていただいています。なんぶ未来塾もですが、地域の方々に支えられていることを改めて実感します。本当にありがたいことだと思います。